大学･高専機能強化支援事業（支援１：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和7年度	学校コード	F126210107469	設置等組織名	情報学部（情報学科）
大学名	福知山公立大学	設置区分	公立		
学校種	大学	都道府県	京都	事業計画名	福知山公立大学　北近畿を基盤とした地域情報人材育成プロジェクト

１.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画と取組状況、自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応
令和7年度	2-①　令和7年7月～令和８年３月　施設環境の整備のため既存ＰＣ教室を演習用教室に転用するため教室改修及び電源増設工事を実施 2-②　令和7年7月～令和８年３月　施設環境の整備のため什器導入 2-③　令和7年7月～令和８年３月　施設整備のため4館教室等ＬＥＤ設備導入	2-①　令和7年7月～令和８年３月　施設環境の整備のため既存ＰＣ教室を演習用教室に転用するため教室改修及び電源増設工事を実施 2-②　令和7年7月～令和８年３月　施設環境の整備のため什器導入 2-③　令和7年7月～令和８年３月　施設整備のため4館教室等ＬＥＤ設備導入	令和7年度自己評価：【３】計画を十分に実施している。
令和8年度	令和8年～令和11年　学修環境整備 3-①　令和8年～令和11年　LMSの運用（令和8年4月3日） 3-②　令和8年～令和11年　事業運営のため事務職員の配置 3-③　令和8年～令和11年　情報発信・広報のためパンフレット作成 3-④　令和8年～令和11年　事業運営のための事務費		令和8年度自己評価：リストから選択してください。
令和9年度	令和8年～令和11年　学修環境整備 3-①　令和8年～令和11年　LMSの運用（令和8年4月3日） 3-②　令和8年～令和11年　事業運営のため事務職員の配置 3-③　令和8年～令和11年　情報発信・広報のためパンフレット作成 3-④　令和8年～令和11年　事業運営のための事務費		令和9年度自己評価：リストから選択してください。
令和10年度	令和8年～令和11年　学修環境整備 3-①　令和8年～令和11年　LMSの運用（令和8年4月3日） 3-②　令和8年～令和11年　事業運営のため事務職員の配置 3-③　令和8年～令和11年　情報発信・広報のためパンフレット作成 3-④　令和8年～令和11年　事業運営のための事務費		令和10年度自己評価：リストから選択してください。
令和11年度	令和8年～令和11年　学修環境整備 3-①　令和8年～令和11年　LMSの運用（令和8年4月3日） 3-②　令和8年～令和11年　事業運営のため事務職員の配置 3-③　令和8年～令和11年　情報発信・広報のためパンフレット作成 3-④　令和8年～令和11年　事業運営のための事務費		令和11年度自己評価：リストから選択してください。
令和12年度			令和12年度自己評価：リストから選択してください。
令和13年度			令和13年度自己評価：リストから選択してください。
令和14年度			令和14年度自己評価：リストから選択してください。
令和15年度			令和15年度自己評価：リストから選択してください。
令和16年度			令和16年度自己評価：リストから選択してください。
認可申請 又は届出	令和７年５月　情報学部情報学科　入学定員の増加（100名から120名）　届出	令和７年５月　情報学部情報学科　入学定員の増加（100名から120名）　届出	
定員減又は 学部等の廃止			

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	福知山公立大学

２.申請資格の確認

ⅰ） 学生募集停止中の大学
ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
ⅲ） 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学
ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の○の項目に該当している）

申請資格の状況	ⅰ）	ⅱ）	ⅲ）	ⅳ）	ⅴ）
すべての項目に該当していない					

３.申請要件の取組状況

① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。

② 十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。

③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。

④ 特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。

⑤ 計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。

⑥ 特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。

⑦-1 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。

⑦-2 学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。

⑧ 入学定員が20名以上増加する計画であること。

⑨ 事業計画の選定があった日から４年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）

⑩ 大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。

⑪ フェーズ３の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去５年間の中央値３年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。

⑫ 計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。

⑬ 選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和５年４月13日文部科学大臣認可）六（２）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。

⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑬の申請要件について、　令和7年度　の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の○の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦-1	⑦-2	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
すべての項目が要件を満たしている														

①～⑬の要件を満たしていない又は対象ではない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

⑭については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

申請要件⑭について	現在の状況
⑭文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

４.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度　の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

■ チェック　a.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
□ チェック　b.関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
□ チェック　c.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
北近畿地域最大の情報人材育成拠点である本学は、地域創生と学術振興の両立を目指す「福知山モデル」を理念に、令和2年度の情報学部設置以来、産学公連携のもと地域のリアルなデータと課題に立脚した技術開発やデータサイエンス研究を展開してきた。具体的には、福知山市内全小中学校の児童生徒のタブレット学習履歴を分析し授業改善に繋げる「ラーニングアナリティクス」、北近畿自治体職員のDXを支援する「自治体DXワークカレッジ」、雨量や河川水位等の独自データを収集して住民の避難行動を支援する防災研究、さらには地方都市における新産業創出を目指し、SHIBUYA QWS（東京都渋谷区）はじめ内外の企業とのPBLを柱としたアントレプレナー教育を行う「NEXT産業創造プログラム」では3年間で10件以上の起業創設につなげるなど、活動領域は多岐に亘る。 この度の情報学部定員増に伴う新カリキュラムにおいては、1年次の両学部共通の必修科目「地域協働演習」において自治体や事業所と連携しデータ分析とフィールドワークを通じて地域の課題を理解する力を養う。特に福知山市ではDX推進、教育支援、起業支援、防災、産業、観光、農林業、福祉などの多分野を対象に体系的に実践的な演習を展開する計画であり、こうした学びを通じて高度な専門知識と課題解決力を有した情報人材の育成を図る。	令和７年度も引き続き、「福知山モデル」の理念のもと、産学公連携を軸とした多様な地域協働の実績を積み上げた。福知山市内小中学校のタブレット学習履歴を活用した「ラーニングアナリティクス」および自治体職員向けDX支援については、情報学部教員と連携しながら継続的に取組を推進した。防災研究においても、雨量・河川水位データの収集・分析を継続するとともに、消防活動へのAI支援に係る共同研究を福知山市消防本部と実施した。 NEXT産業創造プログラムでは、SHIBUYA QWSとの連携イベントを2回実施し、受講生20名が基礎科目を修了、うち16名がPBL型科目を修了した。修了者を対象とした起業支援事業「F-StartUp」では3社の事業拡大を支援し、受講生によるクラウドファンディングが2件成立（達成総額252万円・目標達成率平均255%）するなど、新産業創出の取組を着実に発展させた。こうした教育プログラムの実施に加え、株式会社クリア（データ分析）・株式会社アイトシステム（独居高齢者見守りデータ分析）・京都府丹後農業改良普及センター（農業IoT）・夕日ヶ浦観光協会（地域ブランディング）など、多様な分野の企業・行政機関との受託研究・共同研究を展開した。地域からの連携相談は85件（前年度62件）に上り、うち共同研究・受託研究等に発展したものは62件（前年度44件）と、産学公連携体制の強化が着実に進んでいる。 令和８年度より、情報学部情報学科の入学定員を120名（20名増）へ変更した。これに併せて、令和８年度から適用する新たな教育目標として、「情報学を基盤とした地域協働型教育」および「汎用的学修能力育成」の２つを策定し、これらの教育目標を達成するための新たなカリキュラムを編成した。 新たなカリキュラムにおいては、情報学部および地域経営学部の１年次学生を対象とする必修科目として「地域協働演習」を配置した。令和８年度の同演習では、福知山市と連携し、DX推進、観光振興、空き家問題、環境保全等の具体的な地域課題をテーマとして取り上げ、学生が各テーマに関する基礎的知識を修得するとともに、福知山市が保有する統計データ等の分析やフィールドワークを通じて、課題の発見・分析・解決に取り組むことにより、高度な専門知識と課題解決能力を備えた情報人材として成長できるよう、授業設計を行った。	

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

■ チェック　a.入学者選抜における科目の見直し
□ チェック　b.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
■ チェック　c.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
□ チェック　d.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
□ チェック　e.留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
入学者選抜の見直しでは、令和8年度より新たに情報学部で総合型選抜を導入し、社会と情報技術の関わりに関心をもち情報学を活かして社会に貢献する意欲の高い生徒を多面的・総合的に評価して受け入れる。また一般選抜前期日程の個別学力検査を数学と小論文の選択式とし、幅広く知識技能を評価できる仕組みに変更する。こうした入試改革を通じて文系・理系を問わず生徒への訴求力を高めていく。 また、中長期の視点で現役世代及び将来世代にそれぞれのニーズ・課題に応じたきめ細かな情報教育を展開している。初中等教育段階においては、小中学生対象のプログラミング教室を開講して4年間で150名以上が受講しているほか、福知山市や近隣教育委員会と連携し教員向け情報教材の開発やタブレット学習履歴の分析支援などを行っている。地域の高校との連携では、令和6年度に情報学部教員が20回を超える模擬授業を実施したほか、探究学習やDXハイスクール事業採択校への指導助言・共同研究を進めて入学へとつなげる体制を充実させ、多様な入学者確保を図っていく。	（入試） 情報学部設置以降、本学では情報学の普及と人材育成に継続して取り組んできたが、教育の質をさらに向上させ、より多様な人材を受け入れる体制を整えることを目的として、令和8年度入試から入試制度の改革を実施した。まず、当初の計画に基づき総合型選抜を新たに導入し、学力試験では評価が難しい表現力や協働する態度を把握するため、自己推薦書等の書類審査と面接を中心とした選抜方法を採用した。これにより、アドミッション・ポリシーに合致する学生の確保を図るとともに、合格者が入学後の学修へ円滑に移行できるよう、学部独自の入学前教育を実施するなど、フォローアップ体制の充実にも努めた。また、一般選抜（前期日程）については、従来の小論文に代えて数学を試験科目として設定し、科目選択制へと変更したことで、知識や技能をより適切に評価できるようになったほか、文系・理系の枠を超えた受験機会を提供する改革となった。これらの改革は計画どおり実施されており、現在はその効果を把握するため、結果の分析を継続的に進めている。 また、初中等教育段階における情報教育の展開として、令和７年度も福知山市・丹波市・朝来市との3市連携のもと、小中学生を対象としたプログラミング教室および屋休みIT講座を実施した。小学生、中学生向けにそれぞれ２講座、計４講座を開設し33名の児童・生徒が受講した。各講座では情報学部教員に加え学生がサポーターとして参加し、受講者アンケートにおいても高い満足度・関心度が示された。 高校との連携において、京都府立西舞鶴高校とバイオロギング・データサイエンスを用いた共同研究を継続した。また、兵庫県立和田山特別支援学校の取組にも連携協力し、インタラクティブ技術を活用したユニバーサルデザイン型の体験プログラムを提供した。こうした小中高との多層的な連携を通じて、探究学習や情報教育への関心喚起を図り、多様な入学者確保につなげる体制を着実に充実させている。	

大学名	福知山公立大学

本事業対象となる学部等の個数	1

１.本事業対象となる学部等の状況

<内訳>
(1)

改組内容	既存学部の収容定員の増加
学部学科名	情報学部情報学科

		年度		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
		改組状況		届出	増員																	
大区分	小区分	項目	単位																			
	事業計画に定める定員	入学定員	人	100	120																	
		編入学定員	人	2	0																	
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	100	120																	
		入学者数	人	108	124																	
		女子学生数	人	29	20																	
		社会人学生数	人	0	0																	
		留学生数	人	0	0																	
	その他の学期	入学定員	人	-	-																	
		入学者数	人	-	-																	
		女子学生数	人	-	-																	
		社会人学生数	人	-	-																	
		留学生数	人	-	-																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	100	120																	
		入学者数(B)	人	108	124																	
		女子学生数	人	29	20																	
		社会人学生数	人	0	0																	
		留学生数	人	0	0																	
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.08	1.03																	
	収容定員等	収容定員(C)	人	404	422																	
		編入学定員	人	4	2																	
		在籍者数(D)	人	430	457																	
		編入学者数	人	1	0																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.06	1.08																	
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	91	-																	
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	12	6																	
		授業科目の単位数	単位	36	20																	

大学名	福知山公立大学

２.理･工･農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況

大区分	小区分	項目	単位	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	100	120																	
		入学者数	人	108	124																	
		女子学生数	人	29	20																	
		社会人学生数	人	0	0																	
		留学生数	人	0	0																	
	その他の学期	入学定員	人	-	-																	
		入学者数	人	-	-																	
		女子学生数	人	-	-																	
		社会人学生数	人	-	-																	
		留学生数	人	-	-																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	100	120																	
		入学者数(B)	人	108	124																	
		女子学生数	人	29	20																	
		社会人学生数	人	0	0																	
		留学生数	人	0	0																	
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.08	1.03																	
	収容定員等	収容定員(C)	人	404	422																	
		編入学定員	人	4	2																	
		在籍者数(D)	人	430	457																	
		編入学者数	人	1	0																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.06	1.08																	
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	91	-																	
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	12	6																	
		授業科目の単位数	単位	36	20																	

大学名	福知山公立大学

３.大学（学士課程）の状況

年度				R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	200	220																	
		入学者数	人	222	230																	
	その他の学期	入学定員	人	-	-																	
		入学者数	人	-	-																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	200	220																	
		入学者数(B)	人	222	230																	
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.11	1.05																	
	収容定員等	収容定員(C)	人	818	829																	
		編入学定員	人	18	9																	
		在籍者数(D)	人	885	901																	
		編入学者数	人	9	5																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.08	1.09																	

４.外部資金の状況（全学）

年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度
改組状況		申請-5年	申請-4年	申請-3年	申請-2年	申請-1年	申請	選定	増員			完成年度								
項目	単位																			
外部資金獲得額	千円	10,269	14,407	39,682	38,077	34,307	33,580	36,244												

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均（過去5年間における各年度の外部資金獲得額のうち最大額及び最小額を除いた残り3年分の平均）(E)	千円	28,930
本事業による助成金の額(F)	千円	54,339
フェーズ３の助成期間終了時までに達成する額(E+F×2.5%)	千円	30,289

特記事項

・「様式1-4_学士　１.本事業対象となる学部等の状況」における情報学部情報学科のR8年度の「事業計画に定める定員　編入学定員0人」とは、若干名を意味している。